



いとうつうしん
伊藤通信

【No.7】
2017年・秋号

〒567-0064 大阪府茨木市上野町26-9 TEL:072-641-1161 FAX:072-641-6771

■■■この伊藤通信は私とご縁のあった方に定期発行で差し上げております■■■

◆読書の秋、一年前から小説も読むようになりました!◆

こんにちは! 伊藤電機代表の伊藤剛明です。伊藤通信「2017年・秋号」をお送りいたします。よろしくお願ひいたします。

さて、季節はすっかり秋になりましたが、皆様いかがおすごでしょうか? 秋と言えば、読書の秋。私自身、読書と言えば“ビジネス書”だったのですが、ちょうど1年くらい前から“小説”も読むようになりました。

1年くらい前、仲の良い知り合いが一冊の小説を紹介してくれました。普段、ビジネス書ばかり読んでいた私でしたが、実際にそれを読んでみて、いたく感動。「小説ってなかなかええもんやなあ」と、小説に対する見る目が変わりました。ちなみに、私が1年前に読んでいたく感動した一冊は、重松清という人の書いた『青い鳥』(新潮文庫)です。内容は、中学の国語の先生なのに、言葉がつかえてうまく話せない村内先生が、授業よりももっと大事なことがあるということ、ひとりぼっちの生徒たちの心にそっと寄り添いながら、教えてくれる物語です。感動のショートストーリーがいくつも詰まっています。



この本を読んで以来、友達の中に読書好きの人が多くことに気がつくようになり、そこでまたおすすめの本を紹介してもらい、順番に読んでということをして繰り返しています。

この夏に本屋さんの目立つところに置かれていた小説が、司馬遼太郎の『関ヶ原(上・中・下)』(新潮文庫)です。ちょうど夏に公開になった映画『関ヶ原』にあわせてのことで、私もさっそく上中下巻を購入。全部読み終わったら映画を観に行こう! と思い、読み進めている最中です。関ヶ原の戦いにいたるまでの経緯や背景、人間模様がとてもドラマチックに描かれていてとにかくおもしろいです。



ビジネス書も役に立ちますが、小説にはそれとはまた違った良さがあり、心を豊かにしてくれます。もし、おすすめの小説などがございましたら、教えていただけますと、とても嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします!

◆編集後記◆

今回もまた、最後までお読みいただき、どうもありがとうございました! さて、最近、よくカフェ巡りをしています。日曜、子どものサッカーの送り迎えがあるのですが、その間にコーヒーを一杯飲んでくる程度ですが、マスターが一人でやっているようなカフェ(喫茶店)を巡っています。それぞれに特色があっておもしろく、何気に楽しめています(笑)。伊藤剛明

■伊藤通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが 072-641-1161 までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前:伊藤 剛明(いとう たけあき)
生年月日:昭和 49 年 2 月 13 日
出身地:大阪府茨木市
家族構成:私・妻・長女(中 3)・
長男(中 1)・次男(小 5)

趣味:キャンプ、ガンバ大阪のサッカー観戦

モットー:【あ】明るく

【い】意思を強く持ち

【う】運がいいと思ひ込み

【え】縁を大切に

【お】大きな夢を持つ



伊藤 剛明